

報道関係各位

第5回「日本医療小説大賞」受賞作決定のお知らせ

平素より格別のご高配を賜り有難うございます。本日、公益社団法人日本医師会主催（後援：厚生労働省、協力：新潮社）による「日本医療小説大賞」の選考が行われ、受賞作品が決定しましたので、お知らせいたします。

この賞は「国民の医療や医療制度に対する興味を喚起する小説を顕彰することで、医療関係者と国民とのより良い信頼関係の構築を図り、日本の医療に対する国民の理解と共感を得ること及び、わが国の活字文化の推進に寄与すること」を目的として創設されました。

毎年1月1日～12月31日までに書籍の形で発行された作品を対象とし、翌年春に選考会を開催、受賞者には賞状および副賞100万円が贈られます。

2016年4月1日 公益社団法人日本医師会・株式会社新潮社

第5回 日本医療小説大賞

選考委員：篠田節子氏、久間十義氏、養老孟司氏(五十音順)

■□ 受賞作品 □■

『長いお別れ』（2015年5月 文藝春秋刊）

■ 著者略歴 ■

中島京子（なかじま・きょうこ）

1964年、東京都生まれ。東京女子大文理学部卒業。出版社勤務を経て2003年、『FUTON』で小説家としてデビュー。2010年『小さいおうち』で第143回直木賞を受賞。2014年、『妻が椎茸だったころ』で第42回泉鏡花文学賞を受賞。2015年『かたづの!』で第3回河合隼雄物語賞、第4回歴史時代作家クラブ作品賞、第28回柴田錬三郎賞をそれぞれ受賞、『長いお別れ』で第10回中央公論文芸賞を受賞。

■ 受賞理由 ■

現代の医療が直面している難問を取り扱い、文学的水準も高い。

授賞式は5月26日(木)午後6時より、帝国ホテルにて行われます。

■受賞者への取材などのご要望は、以下の新潮社担当者までご連絡ください。

小説新潮編集部 小林加津子 03-3266-5436 kobayasi@shinchosha.co.jp

■「日本医療小説大賞」へのお問い合わせは、以下までお願いいたします。

公益社団法人日本医師会 広報・情報課 TEL03-3942-6483(直)

株式会社新潮社 新潮文庫編集部 木村達哉 TEL03-3266-5301